

令和元年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第7回議事録（要旨）

日 時：12月2日（月）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員9名（中里委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、柴田委員、島津委員、
清水委員、寺尾委員、中島委員）

事務局 3名

1 開会

2 議題

（1）戦時中の食体験について【資料1】

・事務局より戦時中の食体験の開催について説明。

【委員】高齢者も来ると思うので、拡声器があった方が良いでしょう。

【事務局】事務局で手配する。

【委員】駐輪場はあるのか。

【事務局】公共交通機関でお越しいただくようお願いしているが、当日自転車で来る方もいると思うので、場所を確保する。

【委員】来年は自転車での来場可にした方が良いでしょう。境や吉祥寺からは自転車でないと来場が難しい。

【委員】なるべく戦時中に使っていたものや爆弾を見てほしい。当時の人々が一生懸命生きていたことを伝えたい。

【事務局】当日はすいとんとさつまいもを提供する。

【委員】武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会にも呼びかけているので、当日お手伝いできると思う。

（2）研修会について【資料2】

・事務局より研修会について説明。

【委員】大日本帝国憲法ができる前に出された様々な憲法草案の中でも、特に人権保護を重視したものが五日市憲法草案。新井さんという当時大学生だった方が、ゼミの指導教員のもと、深沢家屋敷の土蔵を調査して発見した。様々な人が五日市憲法草案の作成に関わっており、最終的に小学校の先生が完成させた。学校の先生や農家の方がヨーロッパの人権思想を学ぼうとする雰囲気が非常に強かった。マイクロバスが使えるなら、五日市憲法草案の地にぜひ行ってみたい。もし可能なら新井さんにご案内いただきたい。

【委員】私も五日市憲法草案ゆかりの地が良いと思う。説明してくれる人がいるとなお良い。

【委員】東大和市の資料館にも行った方が良いでしょう。芋窪街道沿いにあるので、通り道ではないか。

【委員】武蔵野市周辺といっても、西東京市から三鷹市まで距離がある。国際基督教大学は、中島飛行機の研究所跡であるだけでなく、近くに飛行場もある。

【事務局】行先は五日市憲法草案ゆかりの地で良いか。

→賛同

【事務局】本日欠席の方にもご都合をうかがい、日程を決定する。

(3) 令和2年度憲法月間記念行事について【資料3-1】

①作品(絵手紙)テーマの選定について

・事務局より作品募集の概要について説明。これまでに候補に挙がったテーマ案を紹介。

【委員】「平和」はどうか。

【委員】「交流」や「国際交流」も良いと思う。

【事務局】子どもにわかりやすく「つなぐ」はいかがか。

【委員】「思いやり」なら子どもにもわかりやすいと思う。

【委員】前回のテーマに似ているが、「なかよし」もわかりやすいと思う。

【委員】「友好」はどうか。

【委員】「つなぐ」に似ているが、「つながり」も良いと思う。

【事務局】一人2回挙手していただき、最も多いものにする。

→作品(絵手紙)テーマは「思いやり」に決定。

②講師の選定について【資料3-2】

・事務局より講師案について説明。スイングホールもしくは公会堂を2日間おさえているが、日程については講師の都合により決定する。

【委員】どの方にもお話をうかがいたい。11月の早乙女勝元氏の講演会における質疑応答で、被害者の側面だけでなく、加害者の側面についても言及があった。兵士として戦地に行った市民が悲惨な結末をたどったことについて研究している人の一人が吉田裕さん。加害者にも被害者にもなりうる兵士である市民にスポットライトを当てるべきだと思う。

【委員】この憲法月間記念行事の参加者はどのような年齢層なのか。

【事務局】比較的高めである。

【委員】今回の講師候補者は比較的若いのではないか。

【委員】瀬戸内寂聴さんが良い。

【委員】宮本さんや堀さん、楢さんのような、学者ではない人の意見も聞いてみたい。大学の中で研究している人ばかりではなく、職業として他の世界を知っている人の話を聞きたい。特に、宮本さんには話を聞きたい。

【委員長】憲法月間記念行事にふさわしいかはわからないが、外国の憲法についてあまり知らないので話を聞いてみたい。多くの人に聞いてもらえればと思う。

【委員】内山さん、宮本さんのような学者でない方や、山本さんや宍戸さんの憲法とAIというキーワードが気になっている。

【委員】若い人のニーズと憲法を結びつけること自体がなかなか難しい。ネームバリューだと姜尚中さんや吉田裕さんになる。東京女子大学の芝健介氏のナチス形成過程も面白いと思った。ここ最近では若手の憲法学者が多かったので、歴史学者である吉田裕さんの話を聞いてみたい。また、東京大空襲・戦災資料センターの館長なので面白い話を聞けると思う。

【委員】吉田さんは11月にお呼びするのはいかがか。今年の11月の講演会が東京大

空襲・戦災資料センター前館長の早乙女さんだったので、来年の11月の講演会にお呼びすれば繋がりができると思う。

【委員】吉田さんにお話しをうかがいたい。宮本さんもよいと思う。

【委員】若い人をターゲットにするなら、この事業の目的では厳しいと思う。ターゲットを変えるか、目的を変更する必要がある。

【事務局】吉田裕さん、宮本正樹さん、山本龍彦さんのお話を聞きたいというご意見が多かった。講師については、本日欠席の委員のご意見もうかがい、希望順位を決定する。

(4) その他

・事務局より、大学生企画（案）について説明。

【事務局】大学生の実行委員も多いので、若い人の目線で企画を考えていただく大学生企画を提案したい。

【委員】賛成。来年はオリンピックがあるが、人手不足などの不都合はないのか。

【事務局】例年より遅い日程で夏季平和事業を行う予定である。

【委員】方向性やイメージが見えないと賛成や反対だと言いつらい。人を集めれば良いという問題ではなく、この委員会の趣旨や平和の日制定の流れを踏まえて開催したいと思う。既存の戦争と平和に関する若い人たちの取組みをリサーチする必要がある。企画と委員会の趣旨をすり合わせていく必要も出てくる。

【委員】吉祥寺駅南北自由通路のパネル展で気づいたことだが、学生を中心としてやってもらった方が良いと感じた。吉祥寺は若い人が多く通りかかるので、若い人が呼び込みや説明をしている方が、通りがかった人が足を止めやすいのではないかと。本当にわかっている人が1～2人でサポートして、若い人にある程度任せられた方が良いと思う。

【委員】この会議で若者をターゲットにしたいとよく言っているのですが、彼らがどのように考えて話し合うのかを知れば、戦略を立てやすいと思う。

【委員】大学生だけで企画を練って提案するのはレベルが高いと思う。それができる大学生は少ないのではないかと。普段から平和について考えることは少ない。ボランティアは、参加することが一番学びにつながる。大学生に企画してもらっても大事だが、委員会で企画したイベントに参加してもらうことが重要だと思う。ボランティアに関心のある大学生は多いので、募集をかければ集まると思う。その中で、まずは平和について話し合ってもらいたい。

・委員より、令和2年度の事業について提案。

【委員】来年で平和の日イベントは10回目になる。平和の集いをやってはどうか。また、長崎の被爆クスノキは植樹されているが、広島市の被爆アオギリも植樹してはどうか。また、実行委員が平和や武蔵野の空襲について学ぶ機会があると良い。来年度の実行委員会に申し送りしてほしい。

・次回の委員会は、1月16日（木）午後6時15分～ かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会